

さんかく21・Anjo



良い時間の使い方を見つけましたか

会長 久恒 美香

「そっか。いい人生は、いい時間の使い方なんだ。」「ワクワク・ライフ・バランス」これらは、今年の内閣府の男女共同参画週間キャッチフレーズです。コロナウイルスで外出自粛生活の中、家族と過ごす時間が増え、家族との時間の大切さやいつもの平穏な生活のありがたみを感じた方が多かったことと思います。

その反面、失業や収入減による精神的不安や行き詰まった気持ちを家族に向けるDVや児童虐待が増え、深刻化しました。

誰もが人生の時間の使い方を自分で決め、自分らしく生きる権利があります。新しい生活様式の中でできることは何かを考え、できることを少しずつ積み重ねてワクワクライフを送りたいです。

目次

* コロナが変えた
私たちの働き方・学び方

社会人編 P 2

学生編 P 3

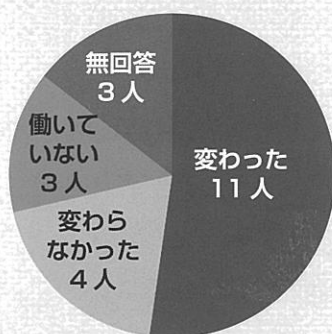
* 家庭の中での変化
..... P 4

コロナが変えた私たちの働き方・学び方

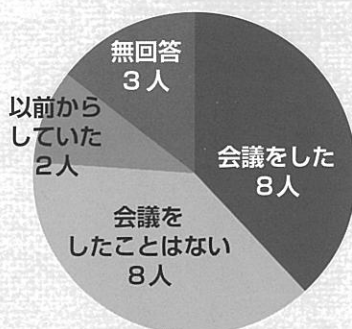
新型コロナウイルスは、私たちの暮らしに大きな影響を与えました。実際に働き方・学び方がどのように変わったのか、私たちの身近な人にアンケートを実施してみました。

～社会人編～（回答 21 人）

1. 新型コロナウイルスにより働き方は変わりましたか？



2. 仕事でオンライン会議をしましたか？



3. オンライン会議をしていかがでしたか？

- ・ やれるか不安だったが、慣れたら平気だった。つながるか直前まで不安。
- ・ オンライン上でのコミュニケーションの取り方や、パソコンの機能など学ぶことができた。
- ・ 少人数の会議であれば、オンライン会議もこれからも有りかと思うが、大人数の参加になると、自分が発言するタイミングが分りにくい。



4. オンライン会議のメリットとデメリットは？



《メリット》

- ・ 時間制限があるので、ムダ話がなく早く終わった。
- ・ 移動がなく、場所を選ばない。

《デメリット》

- ・ 聞き取りにくい。表情が見えにくい。資料が見えにくい。意見が言いにくい。
- ・ 現地、現物の確認ができない。
- ・ 会議後のたわいない会話のコミュニケーションがない。



5. テレワークはいかがでしたか？



- ・ 時間が自己申告なので不安に思う。
- ・ 家での作業はストレスを感じる場合がある。
- ・ 人材育成の面で、先輩や上司の仕事ぶりを見ずに育つことができるのか不安。

6. 今後、テレワーク等の働き方を取り入れていこうと思いますか？

- ・ テレワーク、ローテーション勤務、オンライン会議と通常業務を混ぜて、良い所取りの仕事をしていきたい。
- ・ 職種によっては働き方改革が必要不可欠となるので、取り入れていかなければならないと思う。



アンケートを実施して

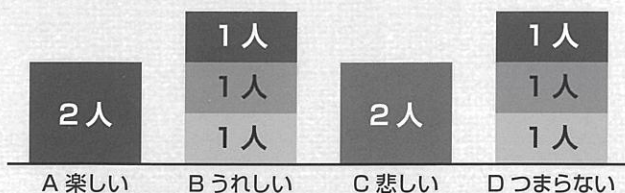
オンライン会議等、今まで経験のない仕事方法で、自分でもできるという自信がついた一方で、在宅勤務での時間管理の難しさ、同じ空間を共有して得る安心感や、ちょっとしたコミュニケーションの大切さが分かったようです。職種によってテレワーク導入の可否が分かれていますが、「新しい生活様式」を受け入れ、テレワークのルールを作ることで、より働き方改革も進むのではないのでしょうか。



～学生編～（小学生2人、中学生3人、高校生2人、専門学生・大学生各1人）

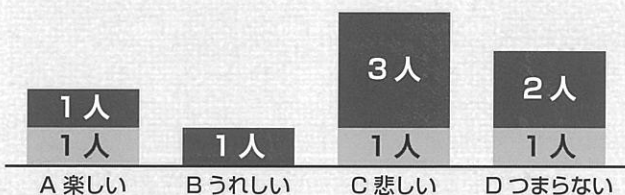
1. 学校の休校・外出自粛となって、どう思いましたか？（複数回答可）

■小学生 ■中学生 ■高校生 ■専門学生・大学生



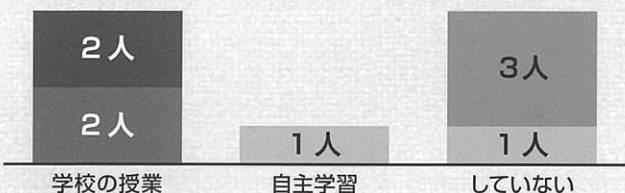
2. 学校の休校が長くなった後半はどのように思いましたか？（複数回答可）

■小学生 ■中学生 ■高校生 ■専門学生・大学生



3. オンライン学習を行いましたか？

■小学生 ■中学生 ■高校生 ■専門学生・大学生



良かったこと

- ・何度でも視聴出来ること。
- ・掲示される内容が見やすく、周りの生徒が気にならない。
- ・移動や通学に時間を使わなくて済む。

悪かったこと

- ・YouTubeでの配信だったので質問ができなかった。
- ・回線が悪い時に提出しなければならないと未提出となること。

4. オンライン学習に対しての期待や不安がありますか？



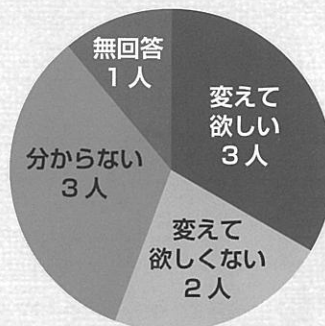
- ・まだ、オンライン学習が導入されていないが、この先導入した方が良いと思う。
- ・クラスメイトとの相互のディスカッションができない。
- ・研究が遅れる。

5. 進学・受験で心配や不安なことはありますか？

- ・中学の勉強、6年生の修学旅行に行けるのか心配。
- ・自分の学力でも、学校の授業についていけるのか心配。



6. 9月から新学期に制度をかえて欲しいですか？



意見

- ・9月新学期が良いのかもしれないが、学校関係以外すべてとなると厳しいと思う。就職との兼ね合いが不安。
- ・春の桜の時がいい。



7. ステイホーム中に何か変化はありましたか？

- ・長時間ひとりであるので、友達と普通に会えたり話せたりする日々がどれだけ大切だったのか改めて感じた。
- ・自分の環境が恵まれていることがわかった。
- ・非常時の準備は必要だと思った。
- ・あたりまえの日常がこんなにも幸せなんだと感じた。
- ・自分自身と向き合い、いろいろ考えることができた。



アンケートを実施して

子どもたちは、大人の私たちが思うより、自分自身のことを真剣に考えていることが分かりました。この外出自粛を期に、子どもに耳を傾けて、子どもの声や意見を聴ける大人が増えるといいなと思いました。

..... 家庭の中での変化 1

子どもが言う事を聞かない時、パパが居るとパパのひと声で大人しくなった。

自分の時間ができ、『家族との何気ない日常の会話や笑い』本当に大事なことが何なのかを気づかせてもらえた。

夜勤がなくなり、時差出勤になったことで、夜寝ることができるようになった。

夫や子どもたちのやれる事が増え、その分ママや家族の時間が増えた。

私が夕飯の下ごしらえしていると、息子が調理をしてくれるようになった。私は助かっているが、息子の真意は「早く食べたい」かな？

家族の会話が増えた。子どもと政府の対応策について意見交換ができ、大人に成長した姿が頼もしく思えた。『子離れ大成功』と感じている。



幼稚園が休みにになり、4歳の孫守りをしている時。孫の笑い声や子守り歌で、うたた寝をし始めると、ひんやりしていた足先に、何だかふわりと温かい風が流れそのまま夢心地に。目が覚めた私に孫の一言、『ばあばが寝ちゃって寒いかなって思ったから、上着をかけてあげたんだけど、わかった？』と。孫の優しさに、心が癒されました。

下の子を寝かしつけて、リビングで上の子とゆったり時間を過ごしていると、上の子が『私だって甘えたいよ』と言いました。それを聞いた私は、小さいながらもお姉ちゃんだから我慢していたのかと思い、我が子が愛おしくなりなりました。思わず膝に乗せ抱きしめ、『子どもは親に甘えていいんだよ。いくつになっても、あなたの親なのだからね。』と伝えました。学校が休みにになり、子どもとの時間が増えたことで本音がきけました。



●「さんかく21・安城」とは●

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループのネットワークの会です。

(令和2年4月1日現在のグループ一覧・順不同)

安希の会／安城国際交流友の会／安城市食育健康づくりの会／安城市更生保護女性会／安城市消費生活学校／刈谷・知立・安城おやこ劇場／グリーンそう／NPO法人安城まちの学校／国際交流安城はなの会／ボランティアネット北明治の会／やはぎ会安城支部／指定生活介護事務所ぬくもりの家／NPO法人育て上げネット中部虹の会／NPO法人チャンネルDaichi／NPO法人ing／ウイメンズネット安城／日本デンマークルネサンス推進機構／NPO法人あんじょう地域ねこの会／安城市民やろmyプログラム実行隊

個人会員22名

編集 後記

コロナ禍での編集作業で、全員が顔を合わせたのは1回だけでした。ZoomやLINEも便利だけど、出席者と直接会って話をする事で安心感が生まれるとあらためて痛感しました。

31号編集委員

森下祥子 伊藤朝野 高良眞利子
近藤富子 杉浦武雄 内藤教恵 前田末子

企画・編集：さんかく21・安城
発行：安城市

問い合わせ 安城市市民生活部市民協働課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23

TEL (0566) 71-2218 (ダイヤルイン) FAX (0566) 72-3741